



警視庁採用サイト

この世界を / 守る側へ。  **警視庁**
警察官・警察行政職員採用

申込受付期間（令和8年）
2月24日 ～ 3月9日
9:00 ～ 17:00



エントリーサイト
（新規登録用）

警視庁採用センター

フリーダイヤル:0120-314-372
TEL:03-3581-4321(代表)



警視庁
警察行政職員

鑑識技術(化学)

東京で 化学という 仕事を



Chemical Specialists of Tokyo Metropolitan Police Department Chemical Specialists of Tokyo Metropolitan Police Department
Chemical Specialists of Tokyo Metropolitan Police Department Chemical Specialists of Tokyo Metropolitan Police Department

～ 生活環境課 ～

警察行政職員という仕事

警察行政職員は、犯罪捜査や取締りを行う警察官とは立場が異なり、その職種は多岐にわたり、警察事務を担う事務職のほか、化学や物理などの鑑識技術、機械、電気等、専門的な知識を要する技術職があり、警察活動の重要な一翼を担い、警察官と共に首都・東京を守っています。

化学の知識を生かす部署

鑑識技術(化学)は、化学の専門家として、科学捜査研究所又は生活環境課に配属されます。

科学捜査研究所では、化学の専門知識や分析機器を駆使し、犯罪捜査で警察官が押収した証拠品の鑑定等を行います。一方、生活環境課では、あらゆる業務に対し化学知識を駆使してアプローチし、犯罪捜査の支援をはじめ、諸対策の企画・立案、職員への教養等を行います。

各部署で専門性の高い業務に従事するため、基本的に他部署への異動はありません。

生活環境課の仕事

生活環境課は、銃砲刀剣類や危険物の対策のほか、廃棄物の不法投棄や野生動植物の密猟や違法売買などの環境犯罪や、医薬品の無許可販売や無資格者の診療などの保健衛生犯罪の取締りなど、多岐にわたる業務を行っています。

警視庁 環境犯罪

検索

紹介事例は
こちらから

～事例 生活環境犯罪～

～Case 1～

廃棄物の不法投棄や工場廃水の違法排出などの事件では、投棄物や排出物の中に毒劇物や危険物などが含まれていることがあります。そうした場合、その物質の性状や取扱方法などについて、化学職が専門的知見に基づいて判断し、警察官と連携し安全かつ確実に証拠を保全します。

特に、シアンや六価クロムなどを含む工場廃水を違法に排出した事件では、工場の稼働状況から排出経路や排出物を特定して法令違反を立証し、その特定過程で、化学職が関係機関とも協力しながら、採取方法や汚染拡大防止措置などを検討しました。

～Case 2～

違法にフロンガスを放出した事件では、化学職が検出器を用いて放出場所を特定し、回収器を用いてフロンガスを回収した上、ガスの特定に際しては、鑑定先との調整を図るなどして、違法性の立証に大きく貢献しました。

化学職は事件捜査に直接関与するだけでなく、各種捜査に必要な機器等を調査し、化学的見地に立った説明を行い、機器の調達に必要な予算を確保するなど、各方面で重要な役割を担っています。

～事例 自然環境犯罪～

～Case 3～

野生動物をはじめ、希少種、外来種等の動植物は、様々な法律により規制されていますが、密猟や違法飼育、違法売買等が後を絶ちません。こうした動植物に係る事件を解決する部署も、生活環境課となります。化学職は、動植物の生態や感染症、規制法令

などについても理解をした上で、現場での適切な保護や保管先の調整を行うなど、事件捜査に付随した重要な役割を担っています。

また、遺伝子組換え技術を悪意ある者が利用した場合、生態系、そして人の生活にも重大な影響を与えかねません。こうした事件でも、関係機関と調整しながら必要な鑑定を実施し事件解決することで、社会に警鐘を鳴らすことも生活環境課の重要な役割です。

～Case 4～

固有の生態系を形成している世界自然遺産である小笠原諸島で、希少な植物を傷つけた事件が発生した際は、化学職が現地に赴き、GPS機器等を活用し犯罪場所を特定しつつ、警察官と共に犯人を検挙するなど、地球の未来に直結する自然環境の保護にも尽力しています。

危険を伴う仕事ですか？

犯罪現場で情報収集などを行うことがあり、中には危険な薬品や放射性物質等があるような現場もあります。だからこそ、皆が安全に現場で活動できるよう化学の知識が必要不可欠です。なお、犯人との接触は、原則警察官が行いますので安心してください。

どんな知識が必要ですか？

環境犯罪には、動植物や騒音等の取扱いもあるため、環境汚染に関する化学知識だけではなく、生物や物理をはじめ幅広い科学の知識が必要です。科学の雑学が、思わぬところで事件解決の糸口になることもあります。当然、事務も行うので、パソコンスキルもあると仕事がスムーズに行えます。

生活環境課 Q & A 化学職

やりがいは何ですか？

私たちの日常生活に直結した事案を数多く扱うとともに、東京の治安を維持するだけでなく、美しい地球を未来へ引き継いでいくという、とても大きな役割を担っています。自分が今まで培ってきた知識が、世のため人のため地球のために役立っていると実感することができます。

どんな人が向いていますか？

化学知識は当然必要ですが、それ以上に、同じ志を持つ仲間とともに、協力して仕事を進めることができる人が向いています。難解な分野は、その都度専門機関に確認して捜査を進めるので、専門外の内容でも心配はいりません。あらゆる分野に対して、興味を持って学ぶ姿勢があれば、警視庁入庁後もスキルアップし続けられます。